

科目名		建築施工 I			
担当教員		渡邊 晋太郎	実務授業の有無		
対象学科	建築大工科	対象学年	1	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	32
授業概要、目的、授業の進め方	建築現場における施工計画とプロセス、管理方法など工事の進め方と、基本的な仕組みを座学や事例を通して学ぶ。				
学習目標 (到達目標)	2級建築施工管理学科試験、2級建築士試験合格レベルの知識定着を目標とする。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	図説 やさしい建築施工（学芸出版社）、配布プリント				
NO.	授業項目、内容			学習方法・準備学習・備考	
1	建築施工とは ①建築施工の概要。 ②建築に携わる人々と建築のしくみ。（設計→施工の流れとしくみ） ③建築物の施工形態			方法：教科書、資料を使って説明、解説の座学 達成目標：項目①～③を理解する 準備学習：予習	
2	地盤調査・測量 ①着工準備に伴う、地盤調査の種類 ②測量機器の種類			方法：教科書、資料を使って説明、解説の座学 達成目標：項目①～②を理解する 準備学習：予習	
3	仮設工事 ①着工前準備工事の共通仮設工事 ②直接仮設工事の違い			方法：教科書、資料を使って説明、解説の座学 達成目標：項目①～③を理解する 準備学習：予習	
4	土工事 ①土工事に関する、掘削方法や山留め、排水と必要性			方法：教科書、資料を使って説明、解説の座学 達成目標：項目①～②を理解する 準備学習：予習	
5	基礎地業工事 ①杭・基礎工事の種類、分類など建築物施工の基礎について			方法：教科書、資料を使って説明、解説の座学 達成目標：項目①～③を理解する 準備学習：予習	
6	積算 ①建築物の費用に関する概算見積もりと算出方法 ②単価の積み上げによる建築工事全体の価格設定			方法：教科書、資料を使って説明、解説の座学 達成目標：項目①を理解する 準備学習：予習	
7	施工計画・施工管理 ①施工計画・品質管理・原価管理の必要性和重要性 ②工程計画・工程管理・安全・環境管理の必要性、重要性。			方法：教科書、資料を使って説明、解説の座学 達成目標：項目①を理解する 準備学習：予習	
8	順次 評価テストを実施する。 (4回以上実施予定)				
9					
10					
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
評価テスト	取組姿勢			計画テストを随時実施し、その計画を加える。課題提出を課した場合は、提出の有無、提出期限の厳守、課題内容によって取組姿勢を評価をする。取組姿勢に関しては、出席率や遅刻回数も加味する。日頃の学習を疎かにすることなく、授業に臨むこと。	
80 %	20 %	%	%	建築施工は質の高い建物をつくる知識はもちろん、質の高い設計、安全な現場をつくる上でも重要な知識を学習する。「なぜそうなるのか」を理解して学習しよう	
成績評価基準は A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。					
実務経験教員の経歴	意匠設計実務9年				